



Australian Government

Australian Office of Financial Management

AOFM

# AGS 投資家向け図表・情報パック

## — 2020-21年度 年央経済・財政見通し更新情報

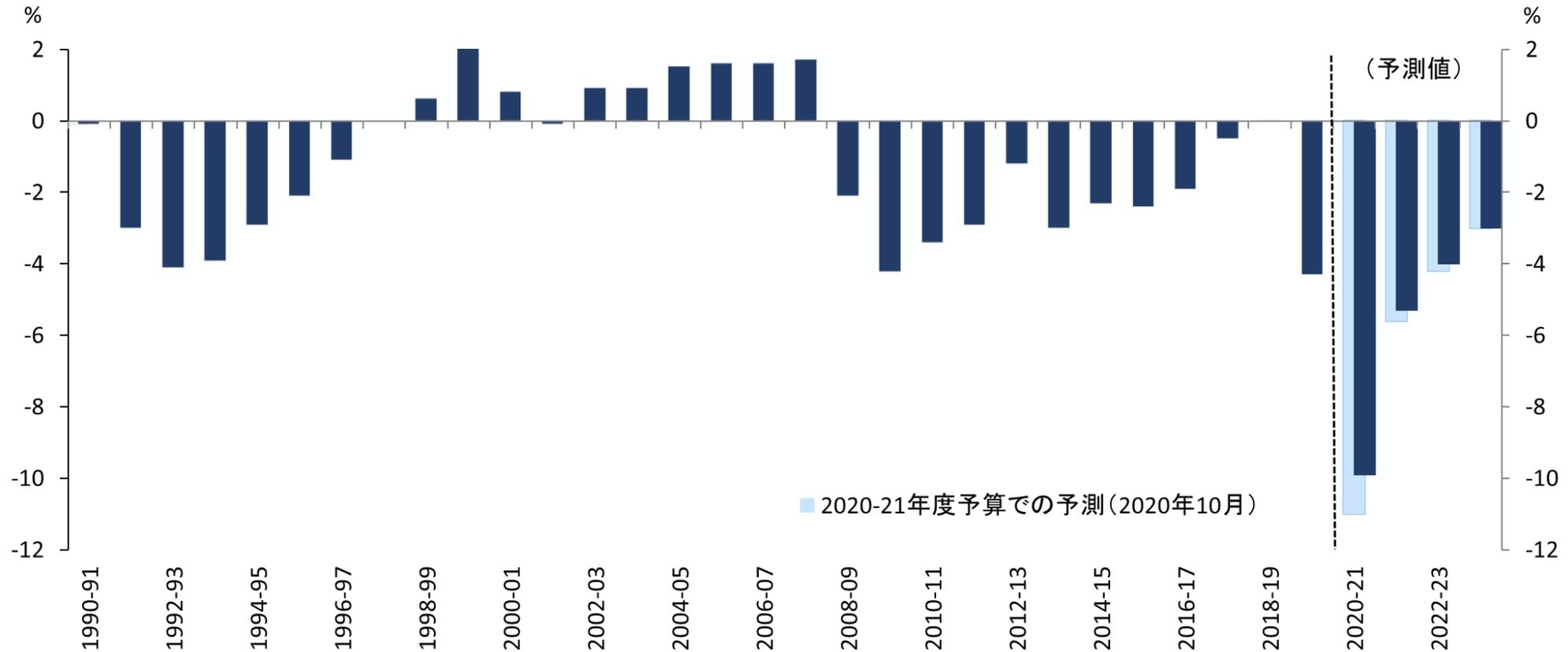
AOFM（オーストラリア債務管理庁）

2021年1月

# オーストラリアの財政状況

## 対GDP比の基礎的財政収支（パーセント表示）

前年COVID-19 [新型コロナウイルス] の影響により悪化した財政状況は、改善を待たずに安定化したものと見込まれている。2020-21年度のUCB（Underlying Cash Balance：財政収支）はGDP比で9.9%となる見通し（2020-21年度政府予算での予測は11%）。これらの改善の主な要因は、新型コロナウイルス感染状況と経済活動について“最悪のシナリオ”を免れている状態が続いていることである。UCBは2023-24年度までにGDP比3%まで改善される見込み。

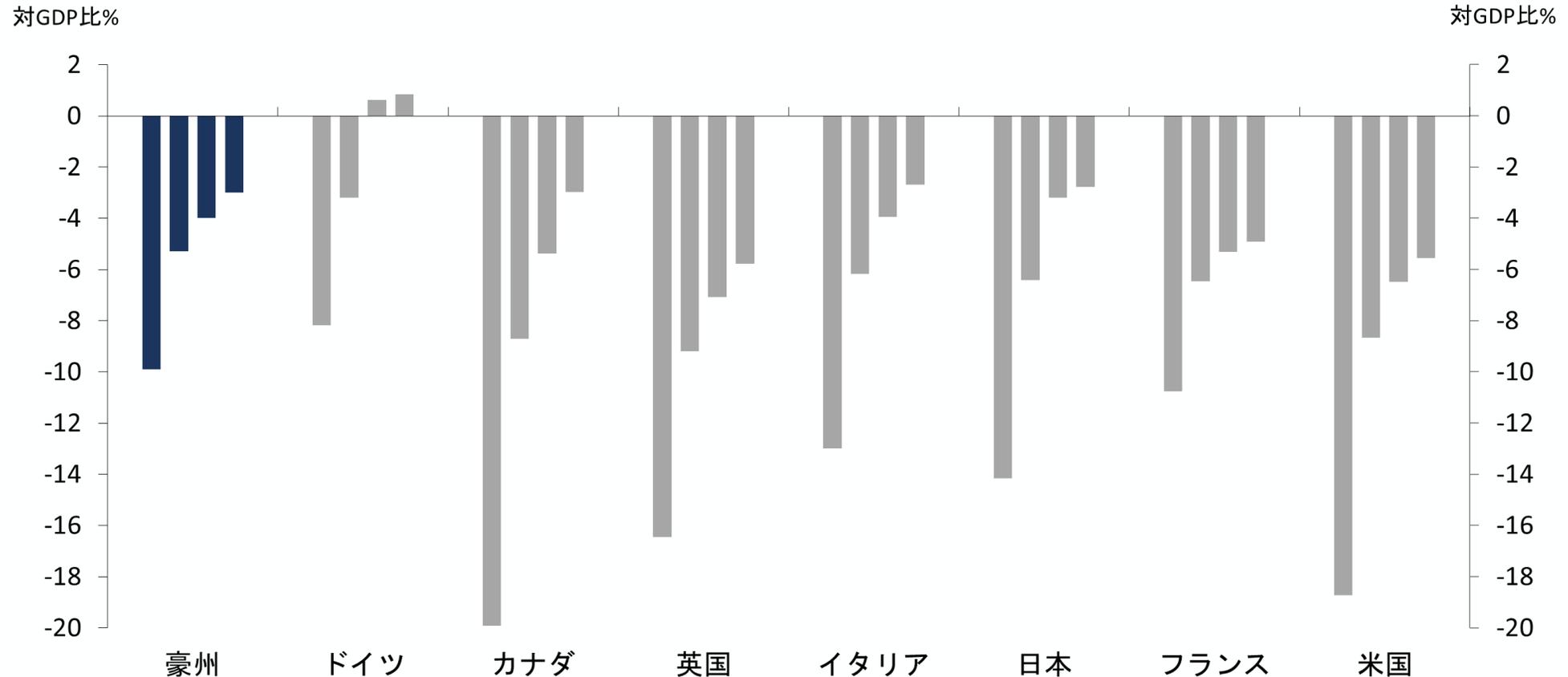


出典：連邦財務省 - 2020-21年度 年次経済・財政見通し

# 各国の財政状況比較

## 2020年～2023年（予測値）の豪州とG7諸国の財政状況比較

オーストラリア政府は強固なバランスシートを有する状態からコロナ対策に着手し、状況を管理。コロナ危機収束後のバランスシートは、世界的に見ても純負債を比較的低水準のまま維持できる見通し。S&P、ムーディーズ、フィッチは2020年、豪州のソブリン格付けをAAAで据え置き。



注：オーストラリアのデータは2020-21年度から2023-24年度までの豪州政府一般政府セクターのものを使用。

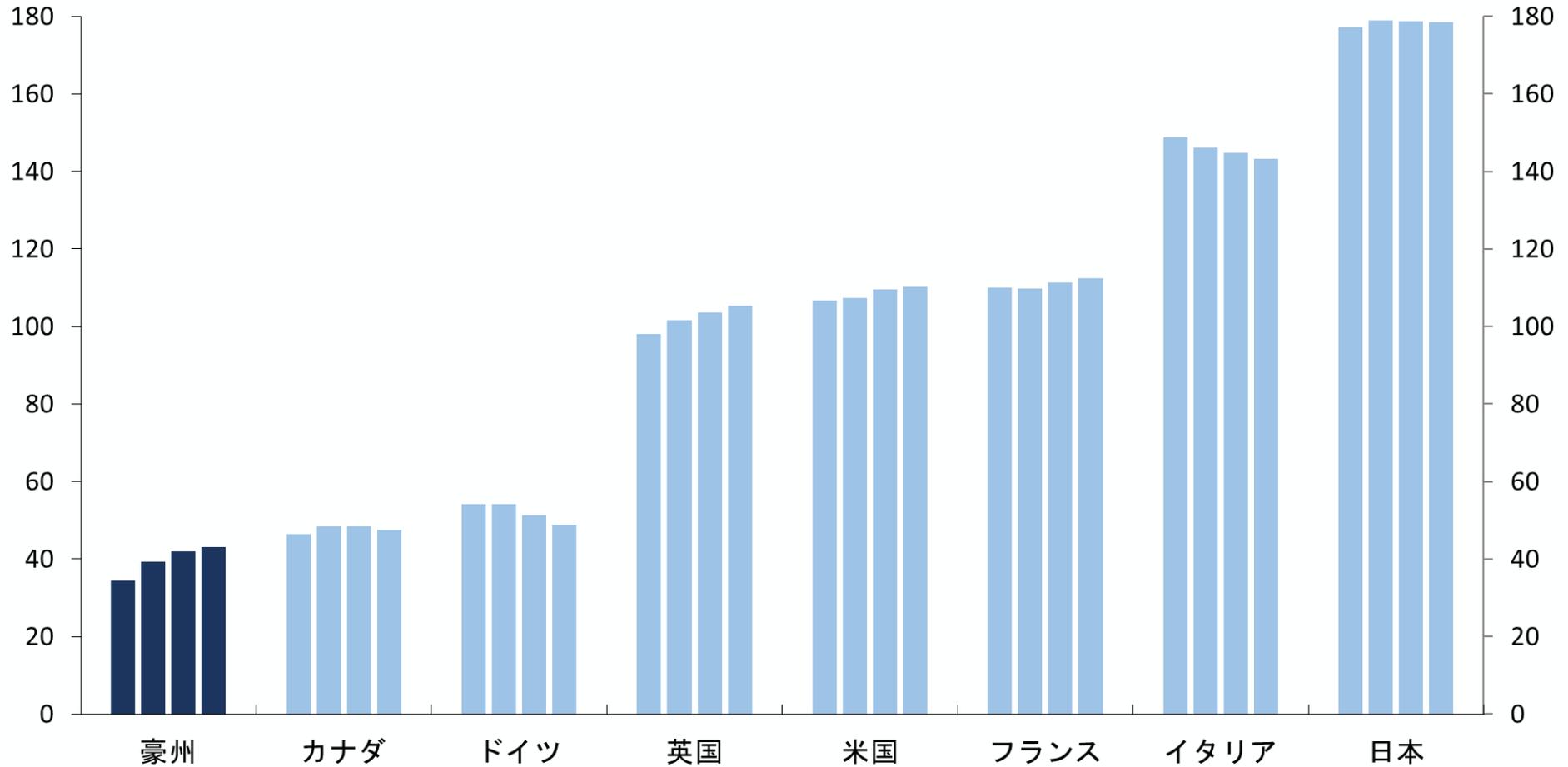
出典：連邦財務省 - 2020-21年度 年央経済・財政見通し、IMF財政モニター 2020年10月

# 各国の純債務比較

2020年～2023年（予測値）の豪州とG7諸国の純債務比較

対GDP比%

対GDP比%



注：オーストラリアのデータは、2020-21年度からのオーストラリア政府一般政府セクターのものを使用。豪州以外の国のデータは政府合計のものを使用し、期間は2020年（暦年）から。

出典：出典：連邦財務省 - 2020-21年度 年央経済・財政見通し、IMF財政モニター 2020年10月

# オーストラリア政府公債

3種類の政府公債を発行

## トレジャリー・ボンド

発行残高

7,229億ドル

29本発行中

1本あたり平均249億ドル規模

償還期限は2021年～2051年

2020-21年度総発行額（見込み）

約2,300億ドル

## トレジャリー・インデックス・ボンド

発行残高

376億ドル

7本発行中

1本あたり平均54億ドル規模

償還期限は2022年～2050年

2020-21年度総発行額（見込み）

約20億～25億ドル

## トレジャリー・ノート

発行残高

483億ドル

7本発行中

1本あたり平均69億ドル規模

償還期限は2021年7月まで

### 補足

- 2020-21年度には償還期限をそれぞれ2025年、2026年、2031年、2051年とする4本のトレジャリー・ボンド（TB）を新たに発行。さらに2032年11月償還のものが2020-21年度下半期に追加される予定。
- 2020-21年度中の残り期間を通して、総額20億～30億ドル規模のTB入札がほぼ毎週行われる予定。
- （少なくとも）2020-21年度中にTB買取入札を再開する予定は無し。
- トレジャリー・インデックス・ボンドについては、ほぼ毎月2回の入札を予定。
- トレジャリー・ノートの定期発行は継続して行われ、毎週の入札規模はAOFMのキャッシュマネジメント上の必要性に応じて変動。

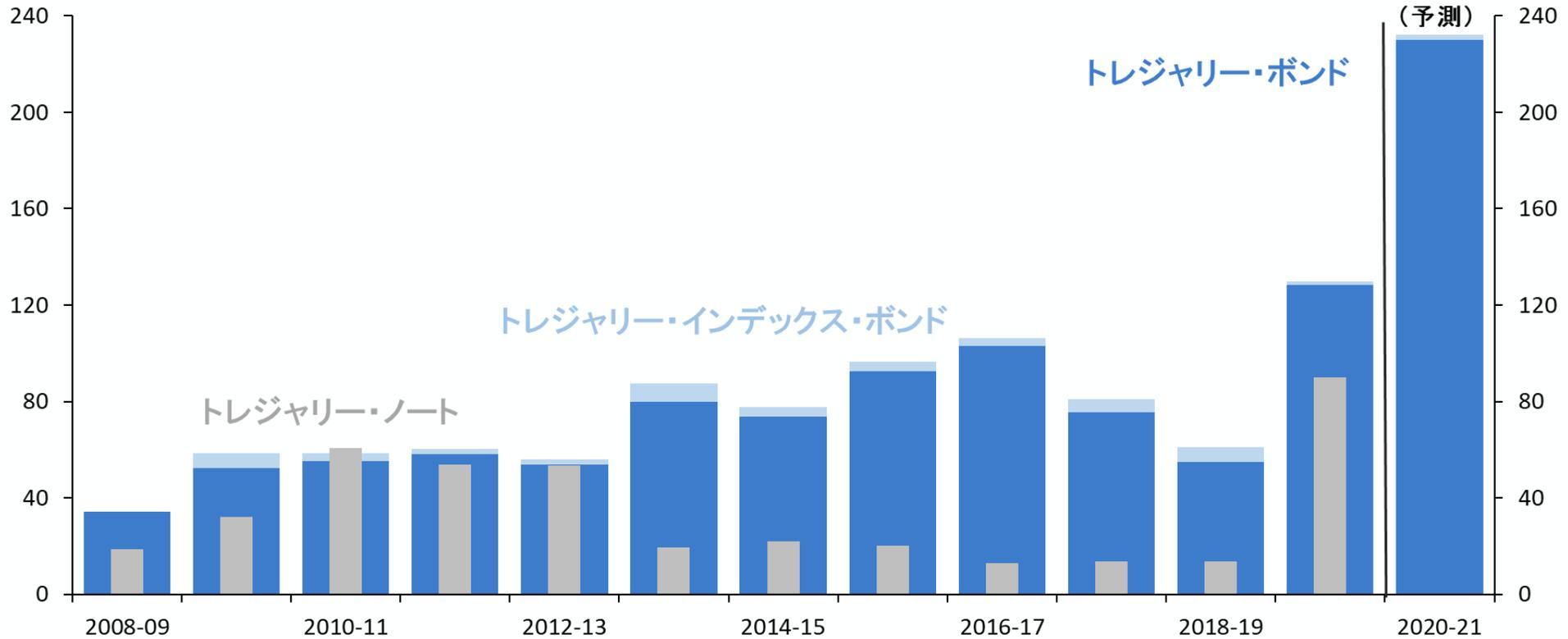
注：数値は2021年1月15日時点のもの。トレジャリー・インデックス・ボンドに記載されている額は、CPI調整をしていない既発債の額面価格に基づいた数値です。

# オーストラリア政府公債発行額の推移

## 発行総額

- 2020-21年度のトレジャリー・ボンド発行額は約2,300億ドルとなる見通しで、このうち1,535億ドル分は2021年1月15日時点で既に引受済み。
- トレジャリー・ノートの定期発行は継続を予定。
- トレジャリー・インデックス・ボンド（TIB）は2020-21年度に20億～25億ドル分発行される見込みで、このうち12億5千万ドル分は既に引受済み。TIBはほぼ毎月2回、それぞれ1億～2億ドル分の入札を予定。

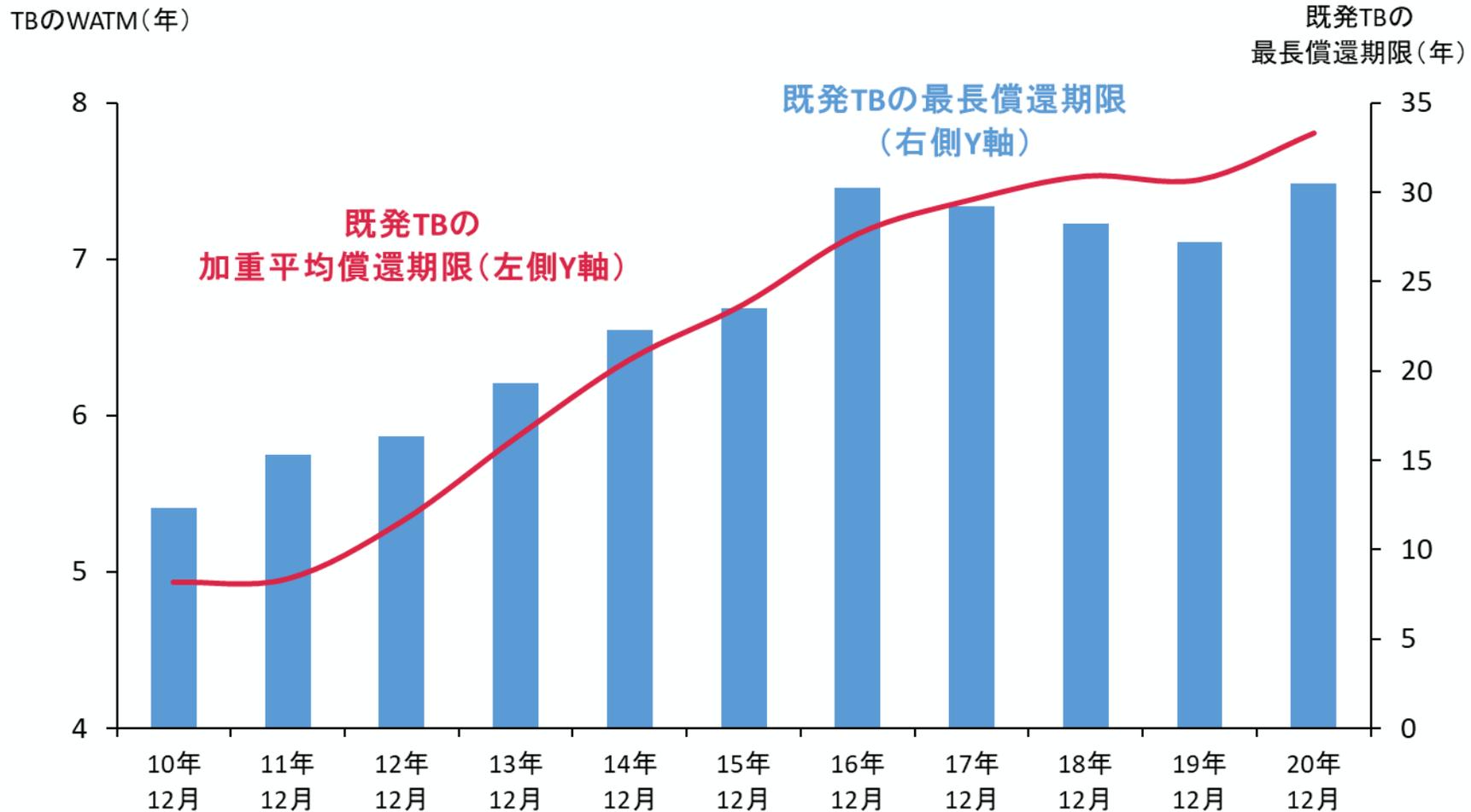
単位：十億豪ドル



出典：AOFM。2020-21年度のトレジャリー・ノートの発行見込みは入手不可。  
 実際のトレジャリー・ノートの発行額は政府の歳出・歳入フローにより変動します。

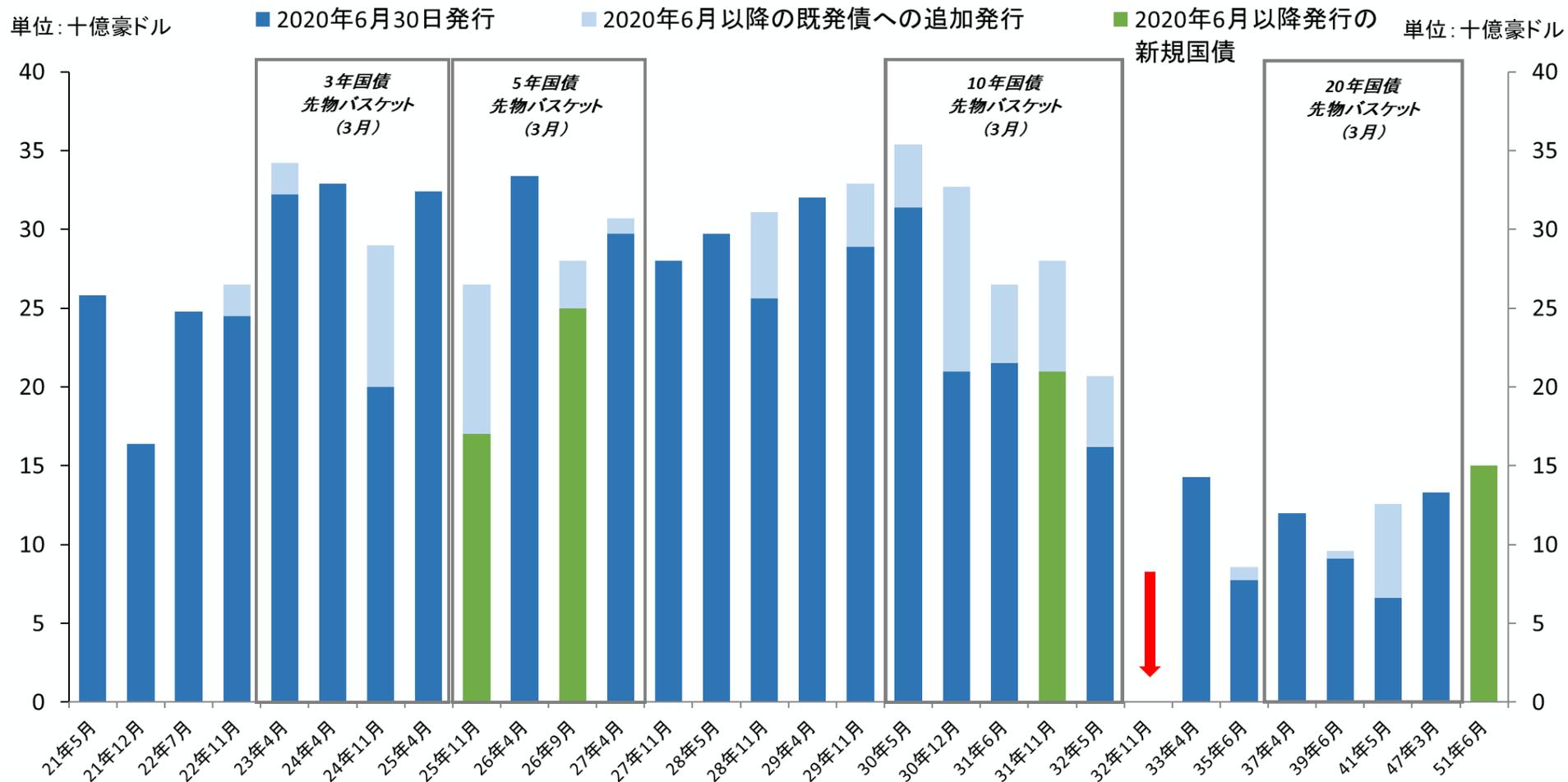
# トレジャリー・債券利回り曲線の長期化と長期債発行傾向

引受シ団向けに新規発行された2051年6月満期のTBにより、（AOFMの債務管理戦略の主目的のひとつである）30年のTB残存期間が維持され、TBポートフォリオのWATM（Weighted Average Term to Maturity：加重平均償還期限）は長期化されて約7.8年に。AOFMは既発債への追加発行と、新たな償還期限を定期的に発表することで、引き続き超長期国債を支持し、20年の先物契約を支えていく。



# 現在発行されているトレジャリー・債券

AOFMは引き続き、利回り曲線でもっとも流動性が高い（需要が高い）箇所での大量発行をターゲットとしつつ、需要に応じて適切な量を発行することで市場のそれ以外の箇所も支えていく。2020年6月以降、新たに4本のTB（トレジャリー・債券）が発行されており、2020-21年度下半期には新たに2032年11月償還期限のものも発行予定。AOFMは、2020-21年度中のこれ以上のTB発行（同年内の3つ目の償還期限追加も含む）は計画していない。



出典：AOFM。2021年1月15日時点のデータ。

# 出来高-トレジャリー・ボンド

AGS（Australian Government Securities：オーストラリア政府公債）市場における流動性には依然として魅力がある。特に3年物と10年物の先物バスケットではこれが顕著に。AGS仲介業者間の取引は堅調で、銀行が流動性をもたらすために国債をショートする必要があるときに、投資家を後押しするコンフィデンスにつながっている。

出来高総額1.54兆豪ドル（2019-20年度）

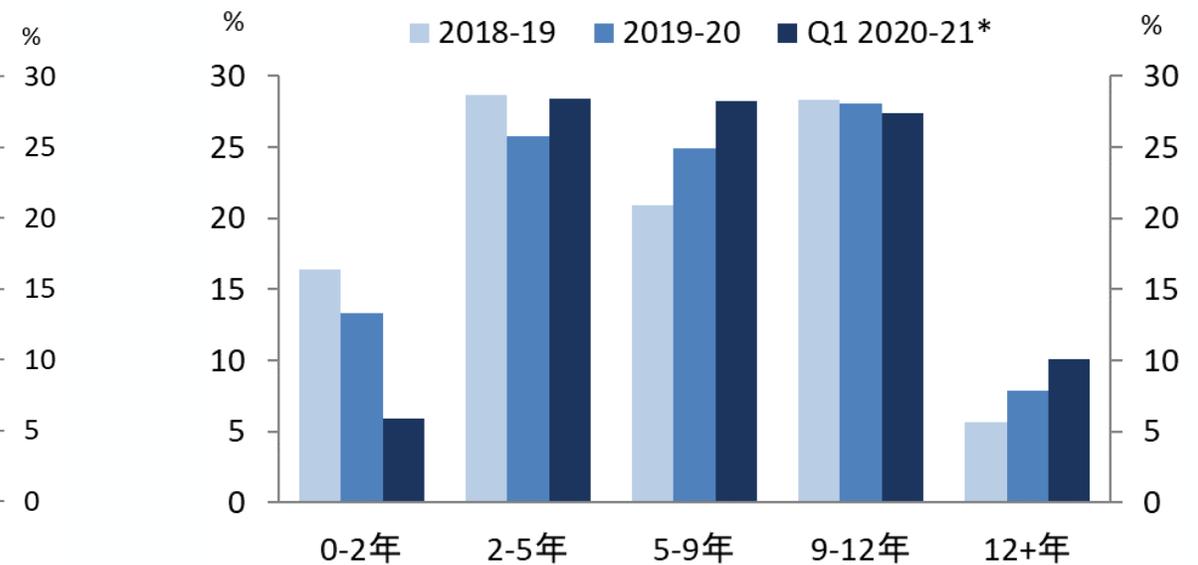
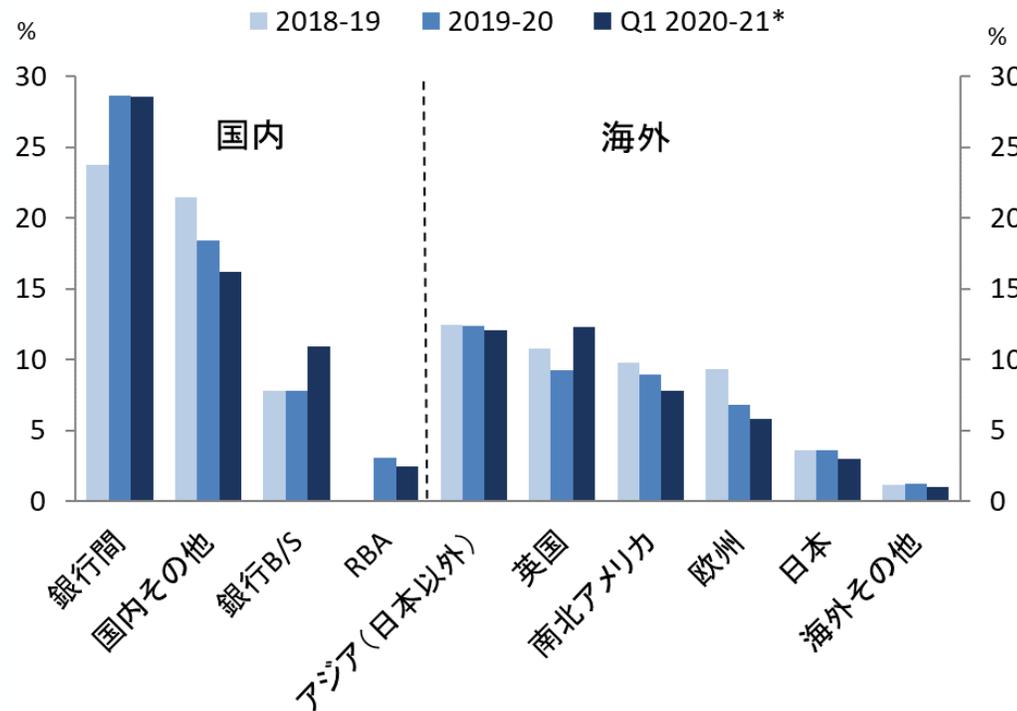
1.30兆豪ドル（2018-19年度）

カテゴリ別の出来高（パーセント）

月平均1,290億豪ドル（2019-20年度）

1,080億豪ドル（2018-19年度）

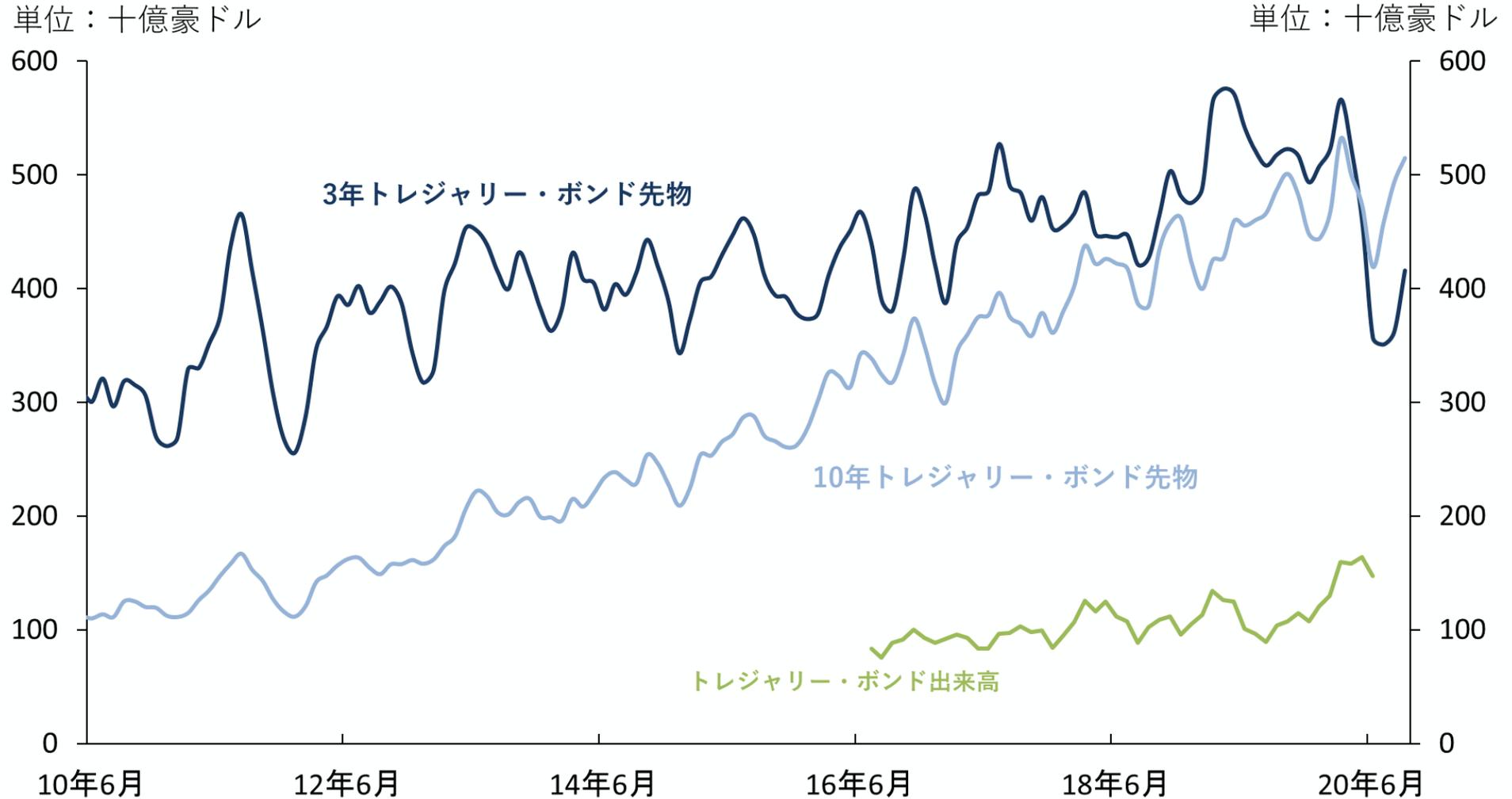
残存期間別の出来高（パーセント）



出典：AOFM。AOFMは調査回答者からのデータに頼っており、このデータの正確性を保証できません。

# 先物市場におけるトレジャリー・ボンドの推移

月別出来高 (3カ月移動平均)

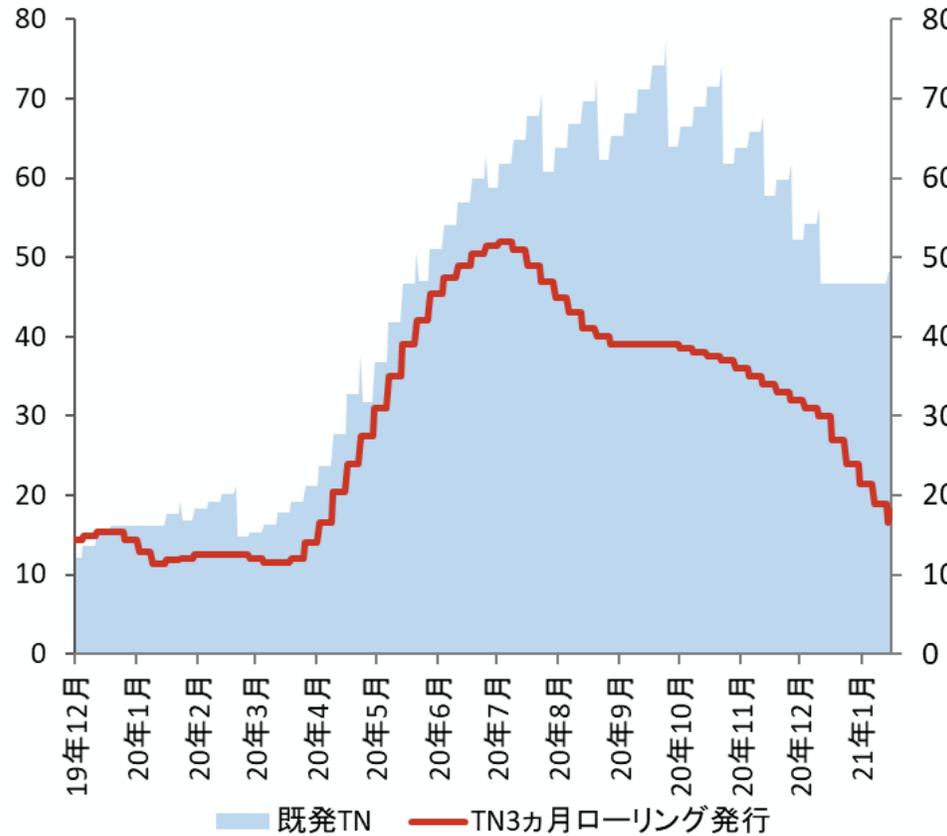


出典：ASX（オーストラリア証券取引所）、AOFM

# トレジャリー・ノート発行額の推移

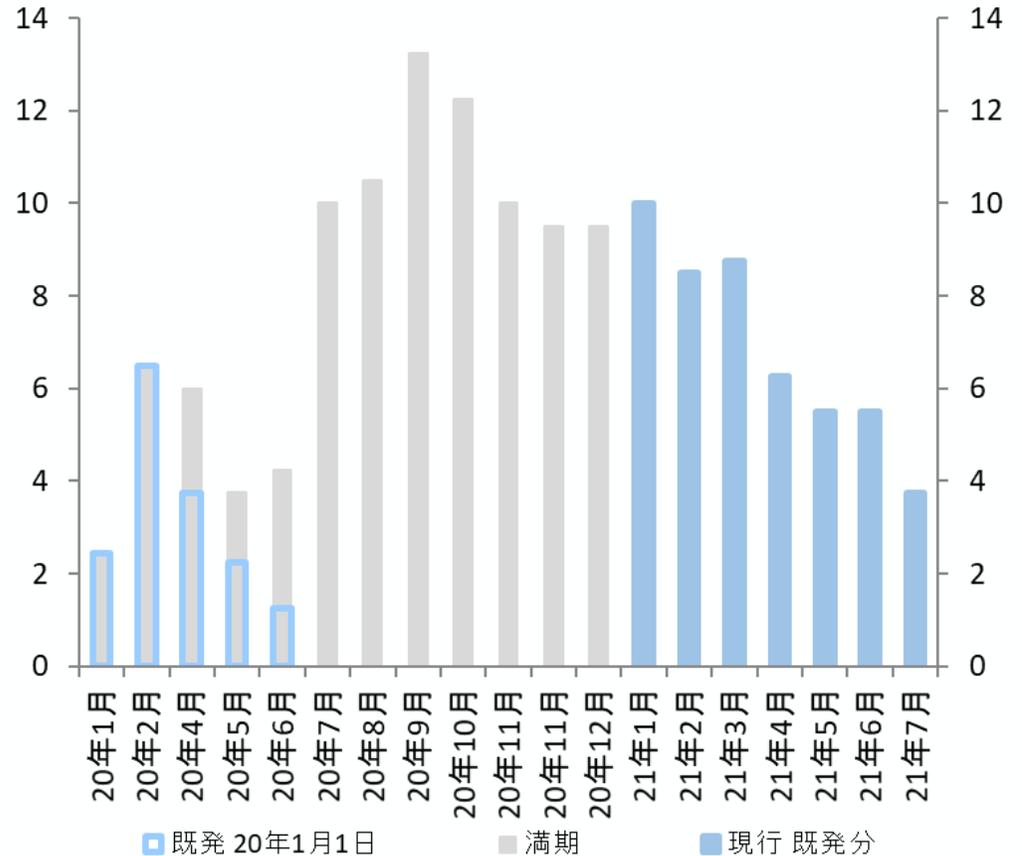
AOFMは、今後もTN（トレジャリー・ノート）の定期発行を継続予定であり、毎週の入札規模はキャッシュマネジメント上のニーズに応じて決定される。TNは今年通年でも、将来的にも当面は重要な役割を担う。TN市場の将来的な役割については、2020年3月の市場混乱以降の投資家のTNとのエンゲージメント経験を注意深く省察しつつ判断していく。

単位: 十億豪ドル



単位: 十億豪ドル

単位: 十億豪ドル

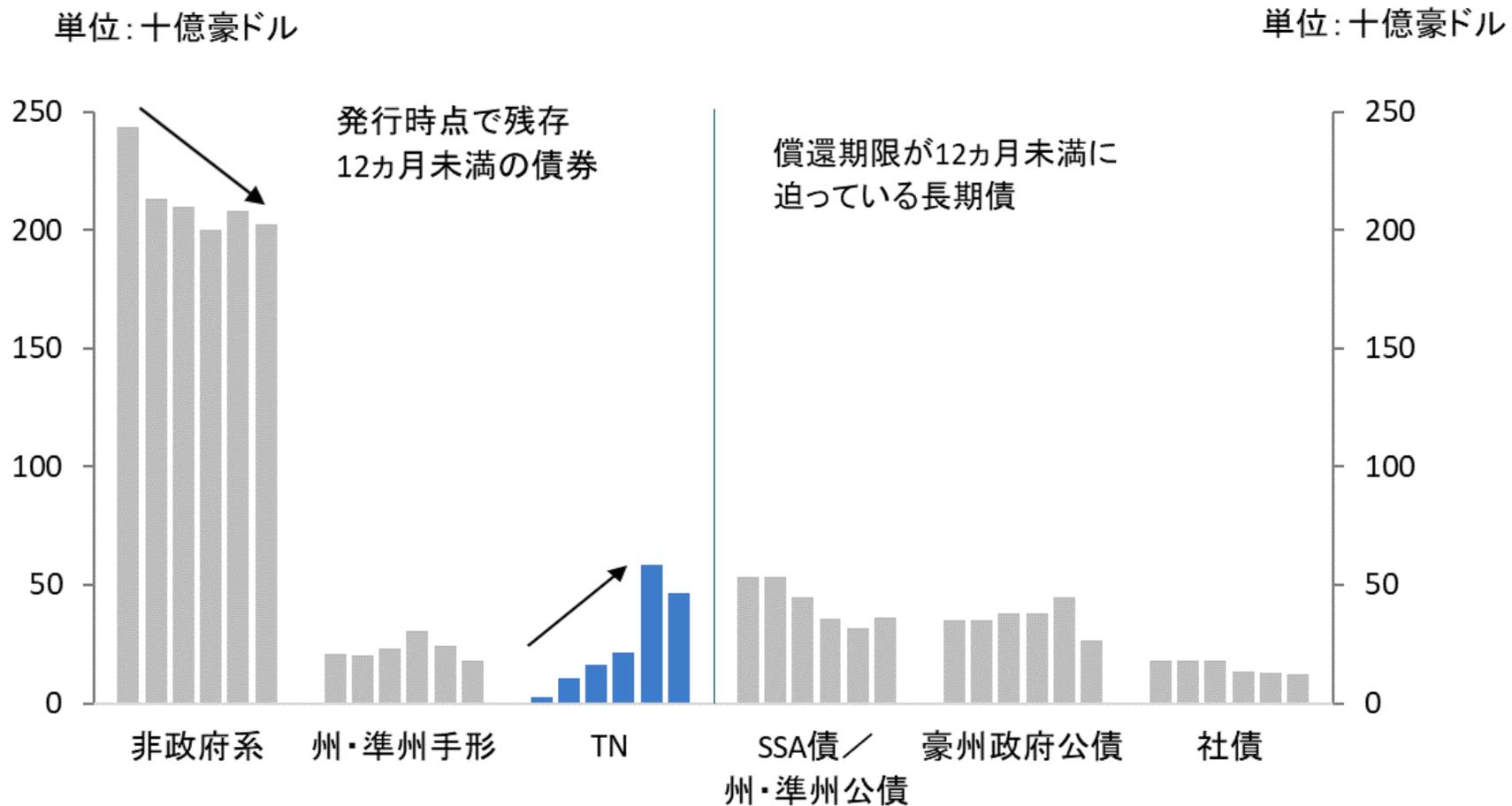


単位: 十億豪ドル

出典: AOFM

# 短期債取引におけるトレジャリー・ノートの増額と重要性

2019年6月～2020年12月

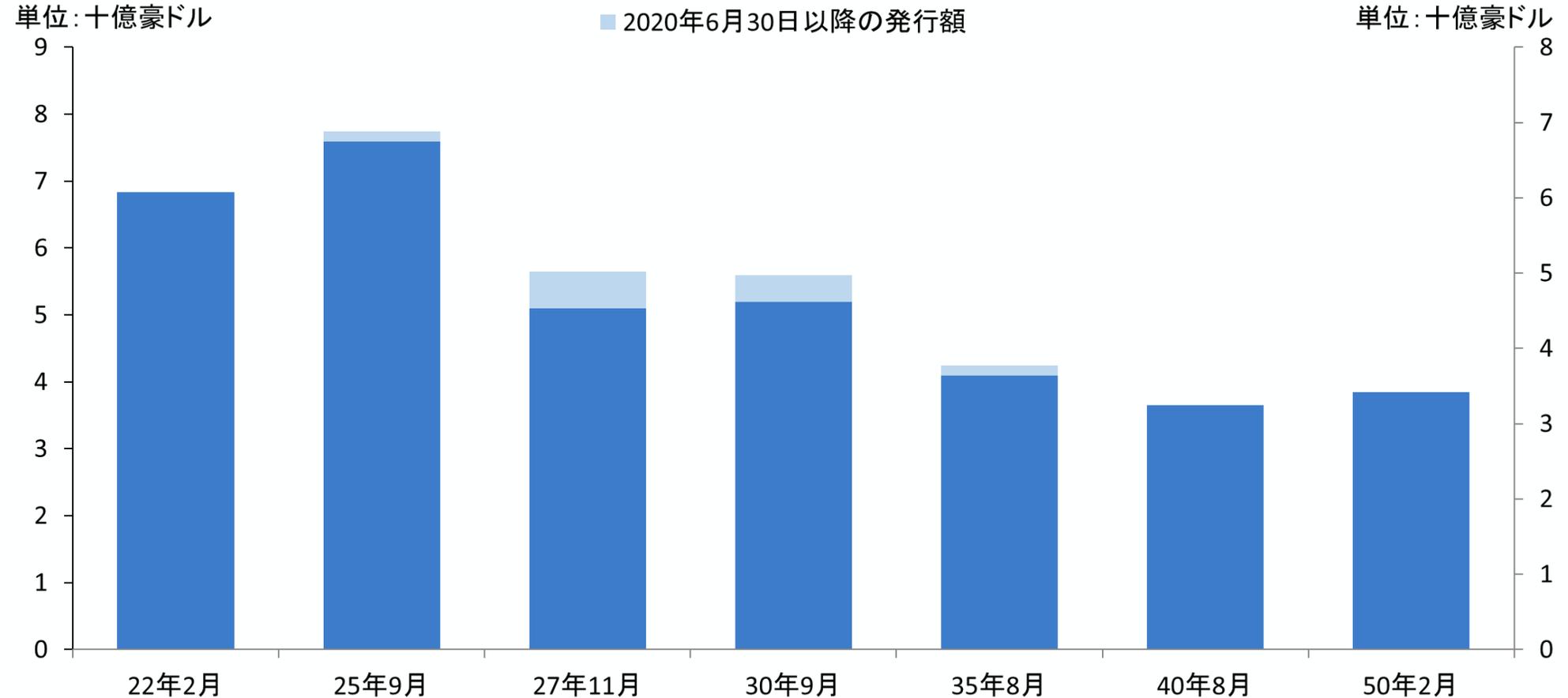


出典: AOFM、RBA (豪州準備銀行)、Bloomberg

# 発行中のトレジャリー・インデックス・ボンド

表示額はCPI変動を調整していない額面価格

AOFMは特に昨年顕著だったTIB（トレジャリー・インデックス・ボンド）市場における流動性の問題を認識しており、市場をサポートするかたちつまり発行にかかる意思決定においてマーケット・コンディションや発行規模を重要要素として考慮するかたちでの発行を継続していく。AOFMは定期発行による供給が市場にとって重要であることも認識している。



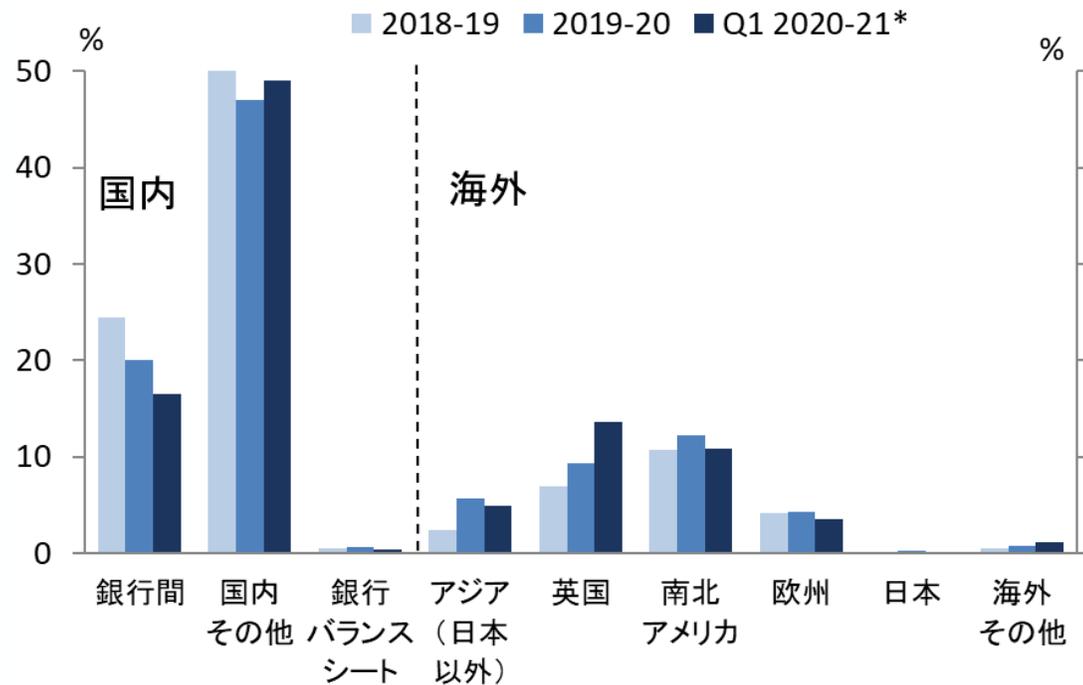
出典：AOFM。2021年1月15日時点のデータ。

# 出来高 - トレジャーリー・インデックス・ボンド

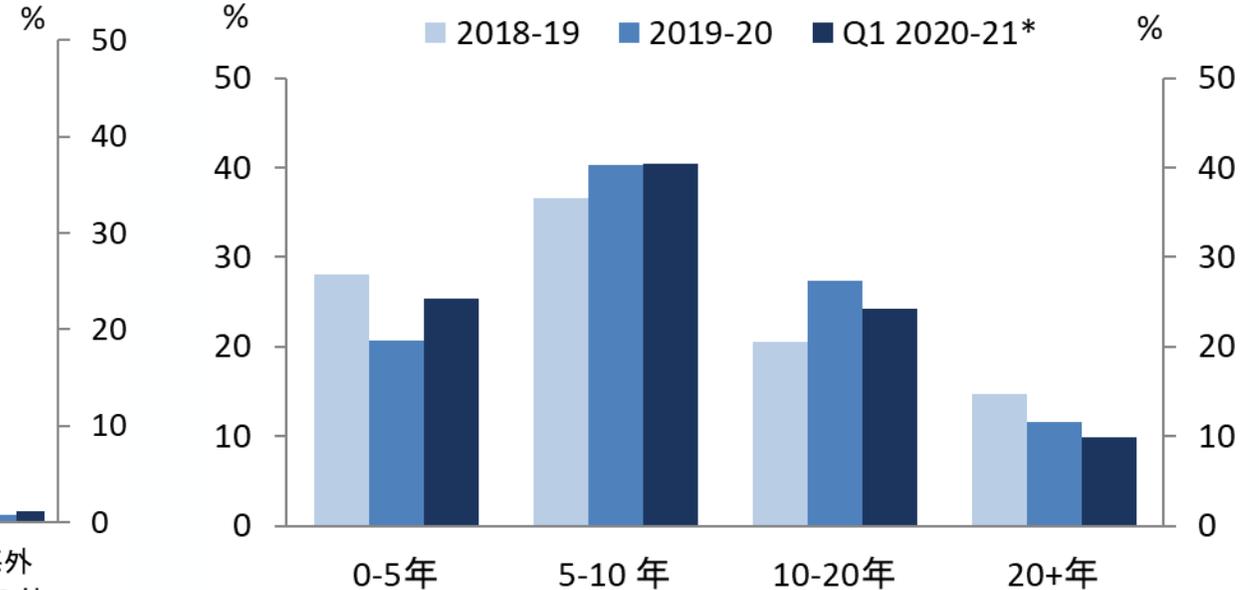
出来高総額490億豪ドル (2019-20年度)  
520億豪ドル (2018-19年度)

月平均40億豪ドル (2019-20年度)  
44億豪ドル (2018-19年度)

カテゴリ別の出来高 (パーセント)



残存期間別の出来高 (パーセント)

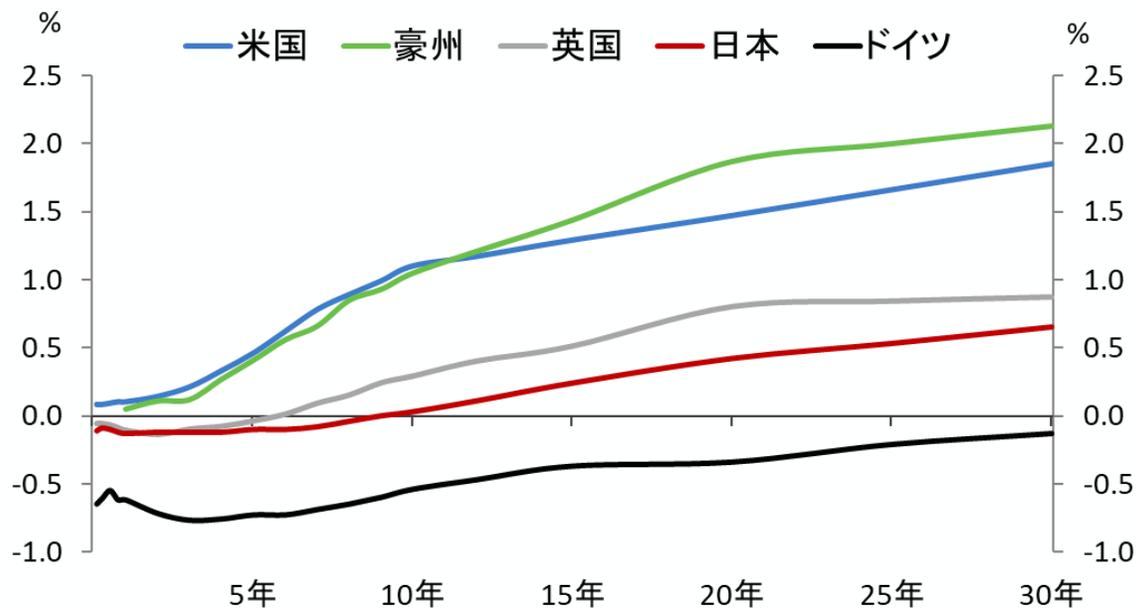


出典：AOFM。AOFMは調査回答者からのデータに頼っており、このデータの正確性を保証できません。

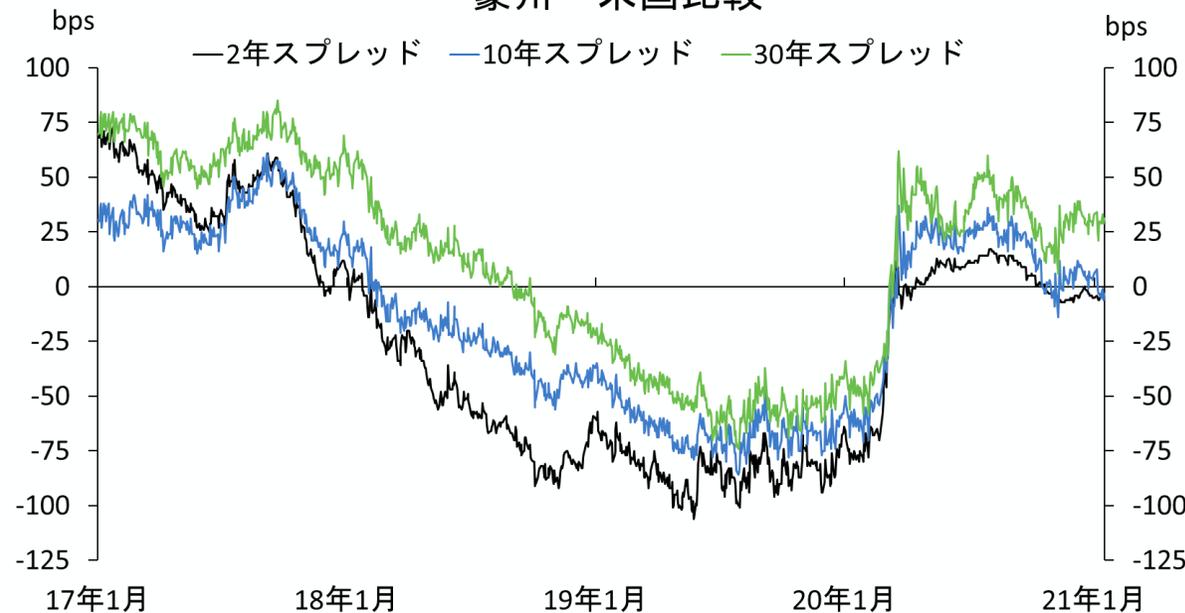
# オーストラリアのソブリン債スプレッド

- AGS（豪州政府公債）市場は他の主要ソブリン債市場と比較しても、多くの海外投資家にとって買い入れ・ヘッジの双方でその魅力を維持。
- AGSの豪州国内投資家ベースは銀行バランスシートとファンドマネージャーが多勢を占める状態が続いている。こうした投資家たちは2020年3月後半の混乱期の後、早期から市場とのエンゲージメントを再開していた。

## ソブリン債イールドカーブ



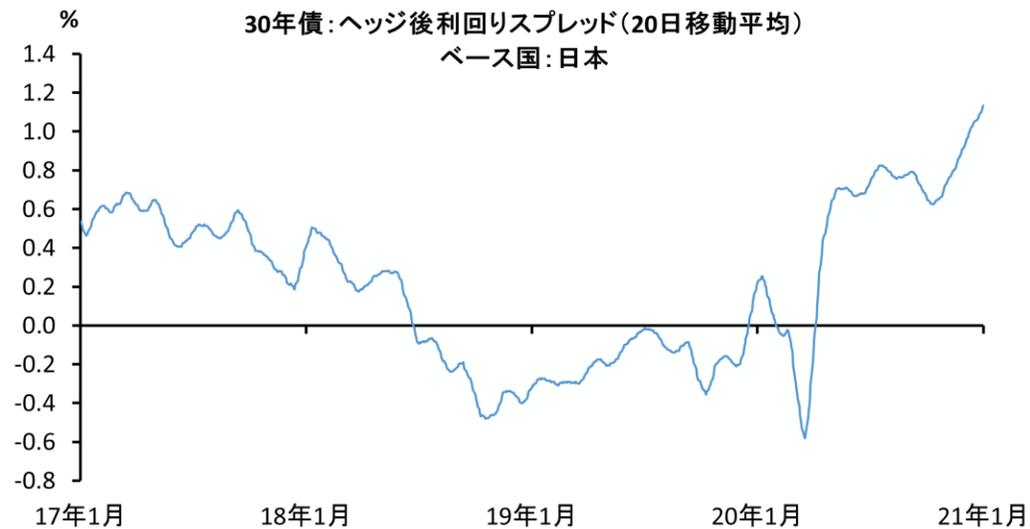
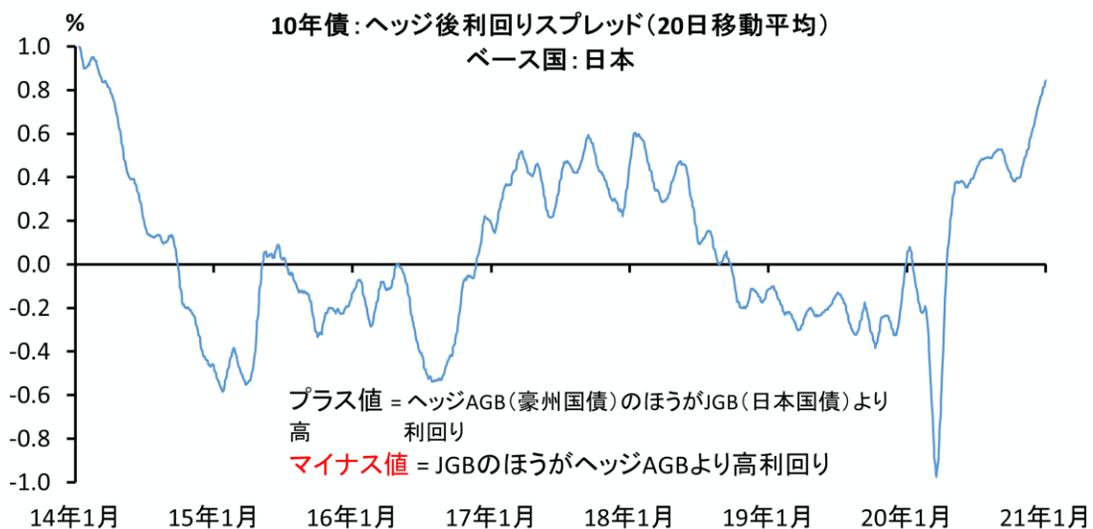
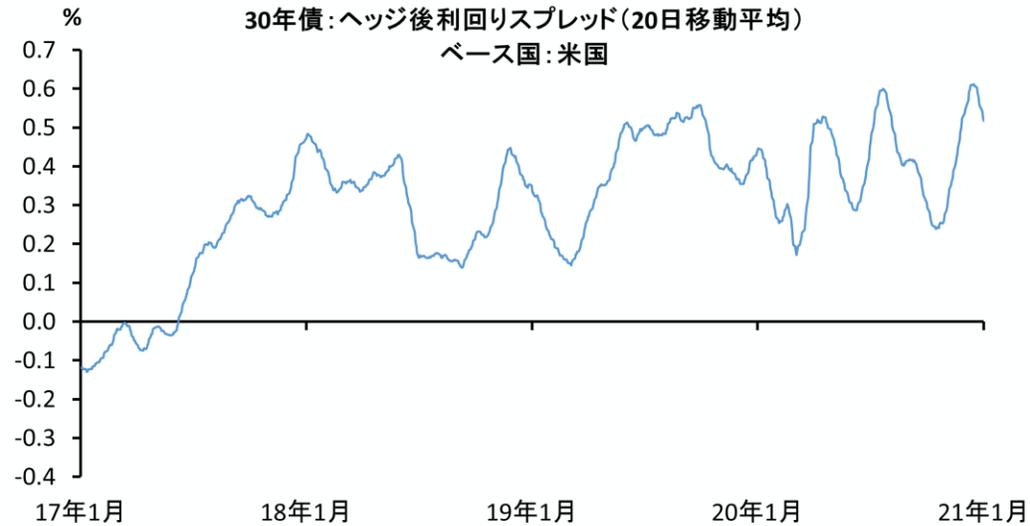
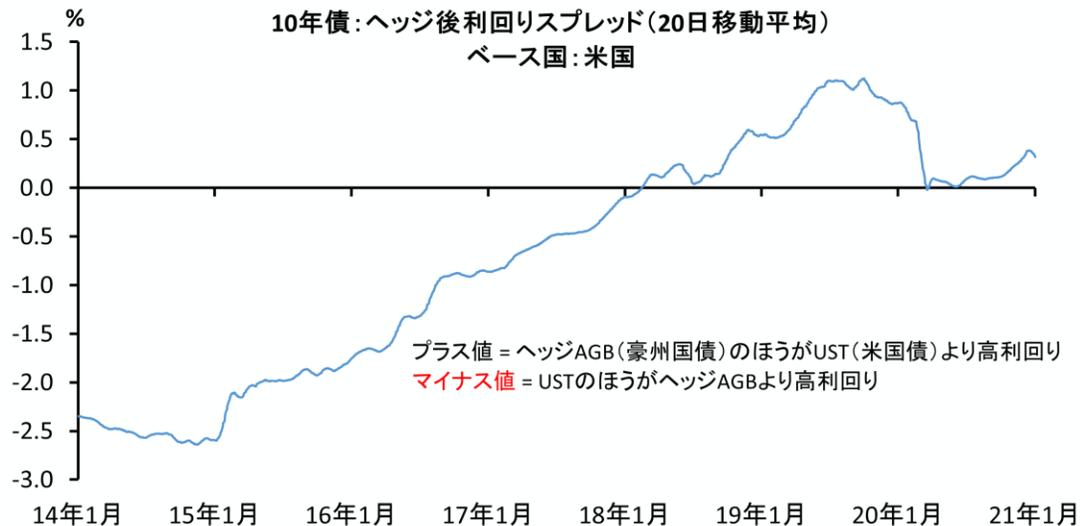
## 豪州・米国比較



出典：Refinitiv、2021年1月15日時点でのデータ

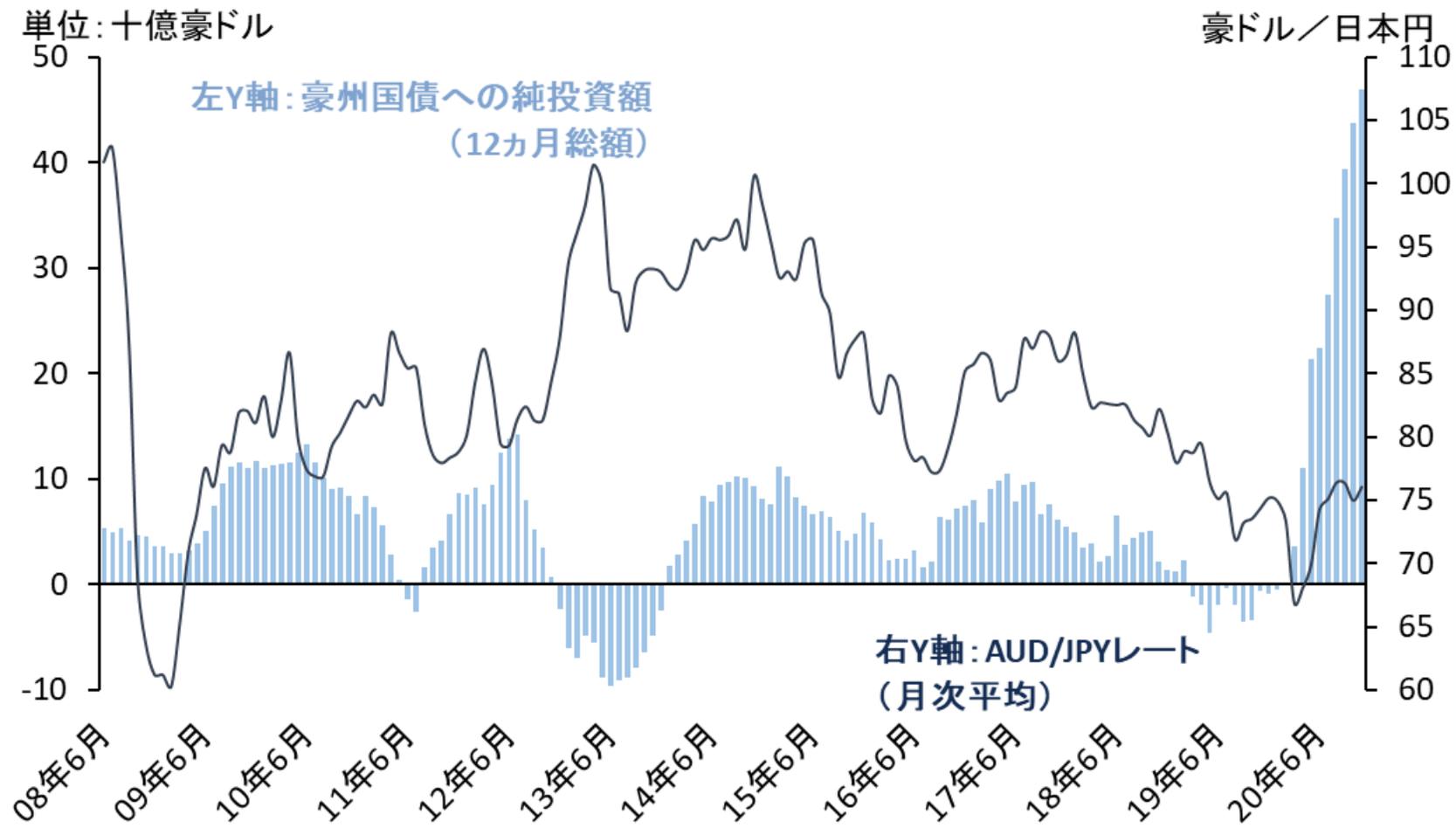
# オーストラリアのソブリン債スプレッド

為替予約（3ヵ月）によるローリングヘッジ



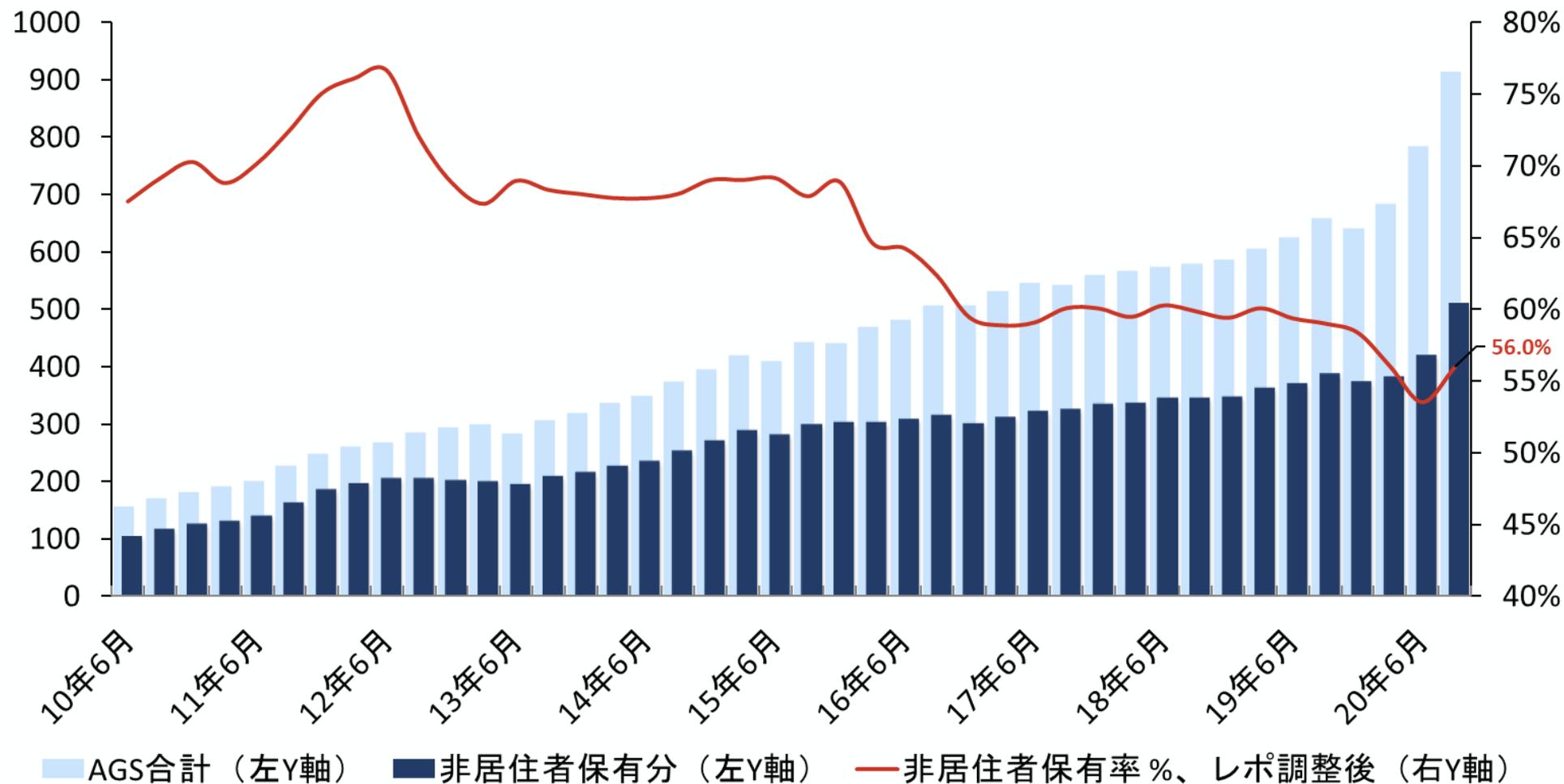
出典：Bloomberg、AOFM

# 日本の投資家によるオーストラリア国債への純投資額 (単位：10億豪ドル)



# 国内居住者・非居住者のAGS保有状況比

市場価値（十億豪ドル）



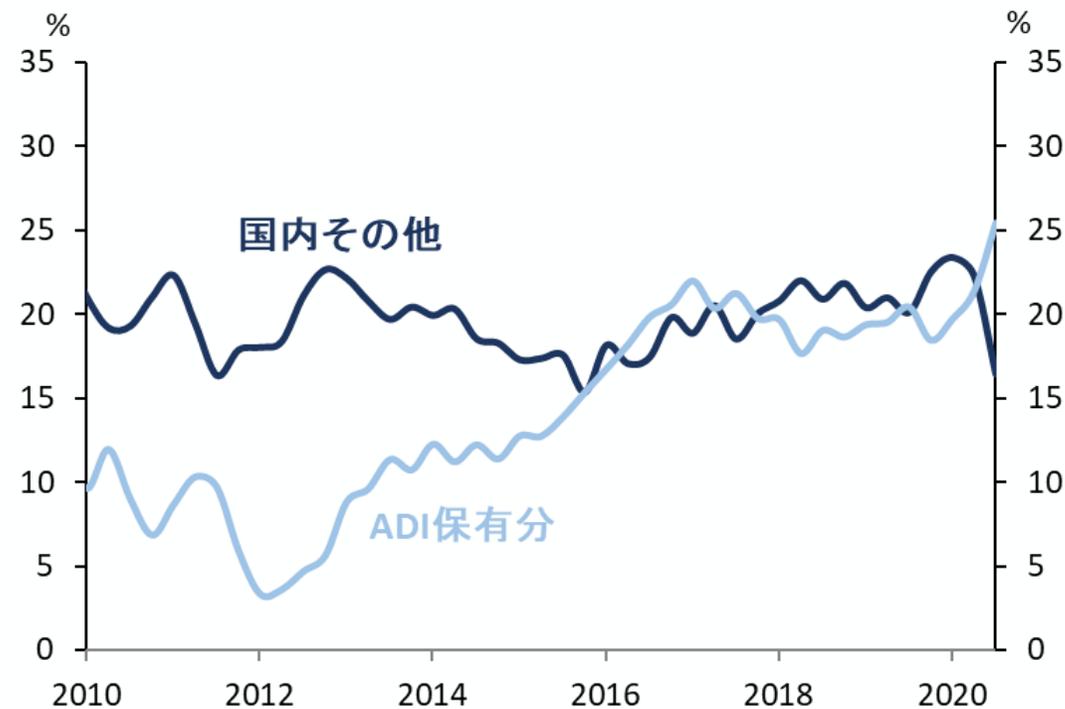
出典：ABS（オーストラリア統計局）、RBA（豪州準備銀行）、AOFM

# 豪州国内の銀行・非銀行機関のAGB（豪州国債）保有状況比

保有額



豪州国債市場に占める割合



出典：ABS（オーストラリア統計局）、AOFM、RBA（豪州準備銀行）

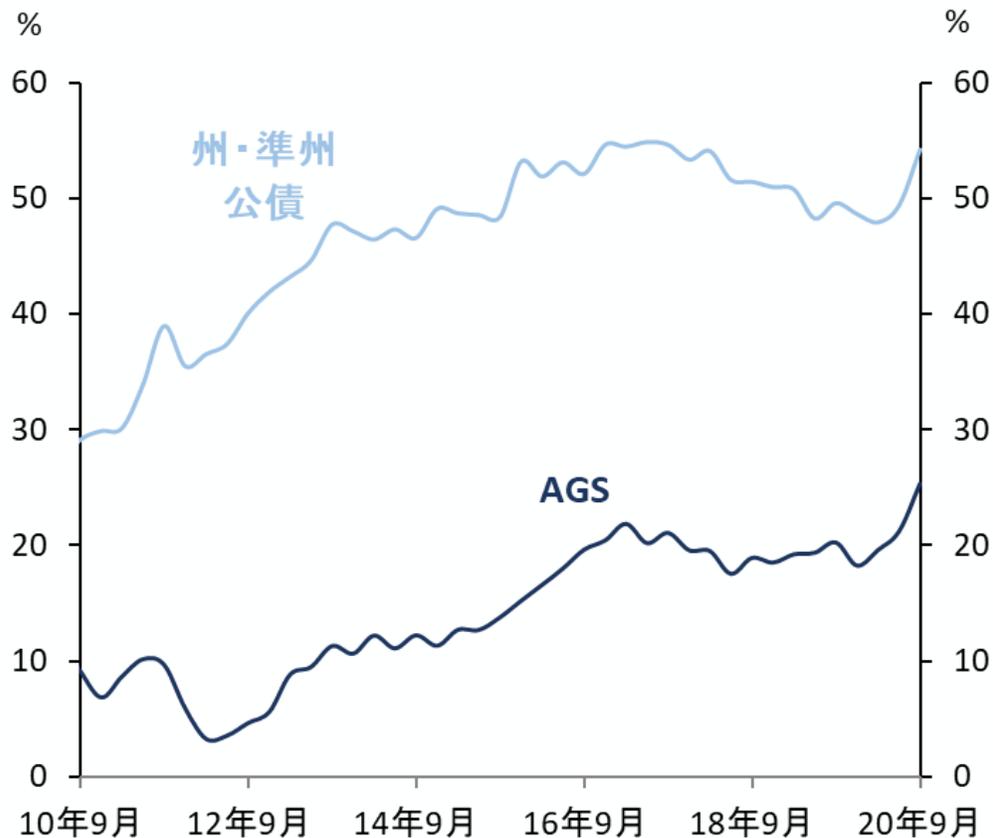
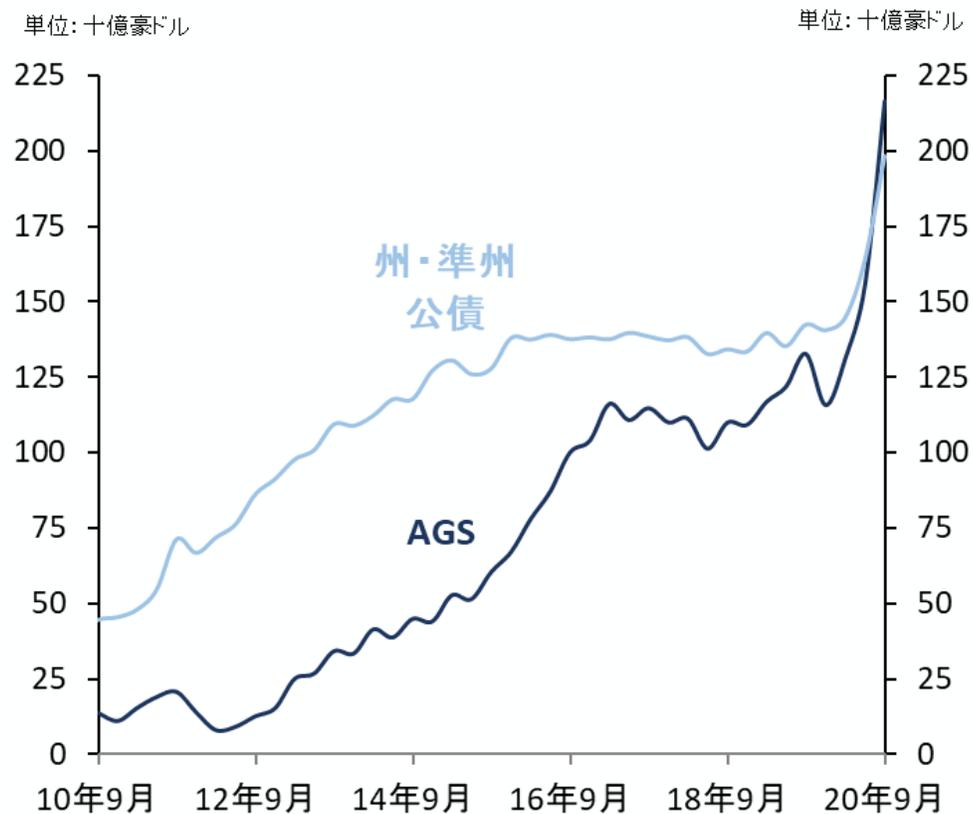
「AGB [豪州国債]」はトレジャリー・ボンドとトレジャリー・インデックス・ボンドを指す。

\* ADI：Authorised Deposit Taking Institutions [公認預金取扱機関]。国内銀行を指す。

# 国内銀行によるAGS（豪州政府公債）および州・準州政府債保有状況

保有額

各市場に占める割合

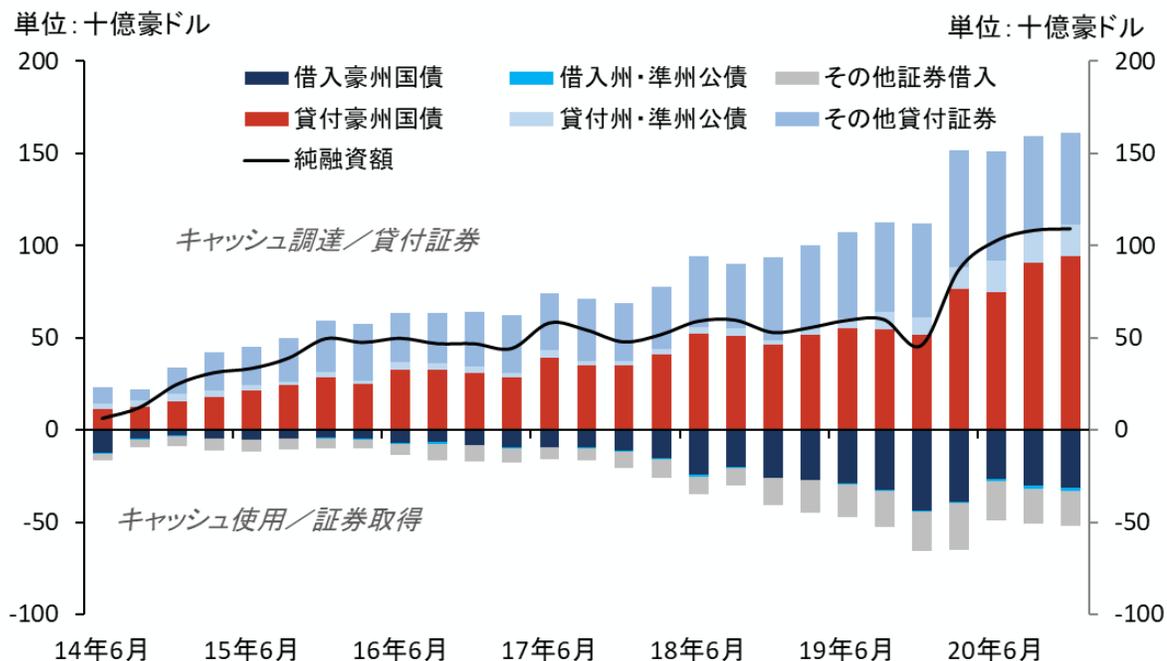


出典：ABS（豪州統計局）、AOFM

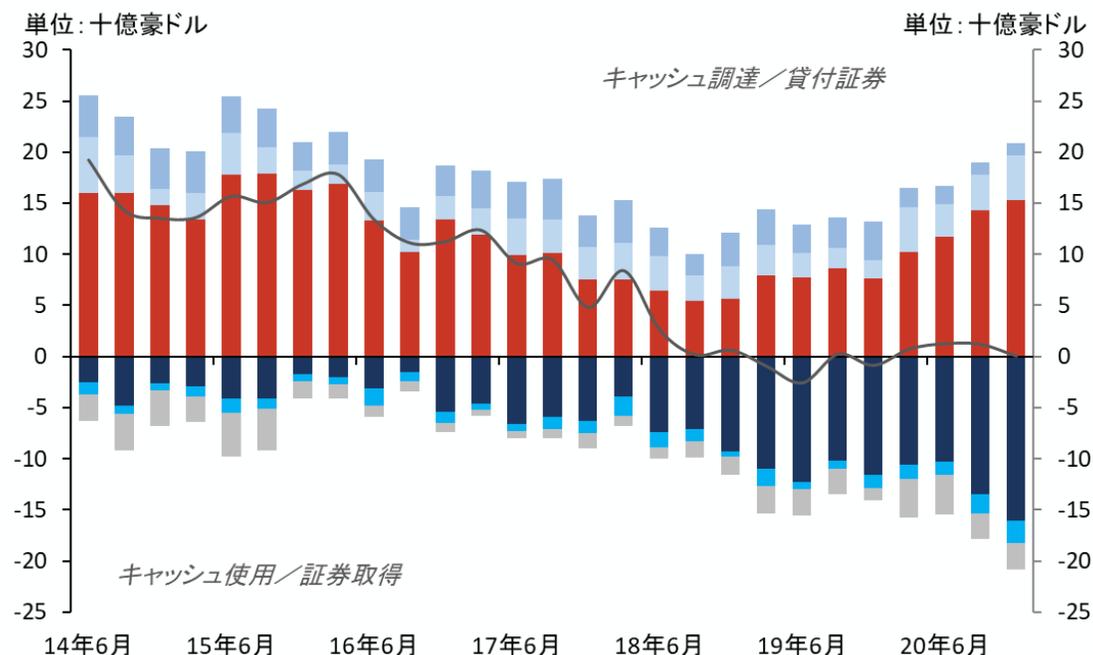
# レポ市場の推移と短期資金調達

レポ市場での資金調達費の上昇は、一部の投資家のAGS（豪州政府公債）大量保有能力を限定的なものにする可能性がある。2019年から2020年にかけて、非居住者投資家によるレポ使用の増加もあり、資金調達状況が緩和した。2020年3月以降、RBA（豪州準備銀行）は公開市場操作により金融システムに追加の流動性を注入。こうしたオペは、たとえば国内非銀行機関による投資としてのレポ取引を通じたキャッシュ貸付（右グラフ）など、民間セクターをレポ市場から締め出さない程度のレートで実行。

## 非居住者によるレポ市場アクティビティ



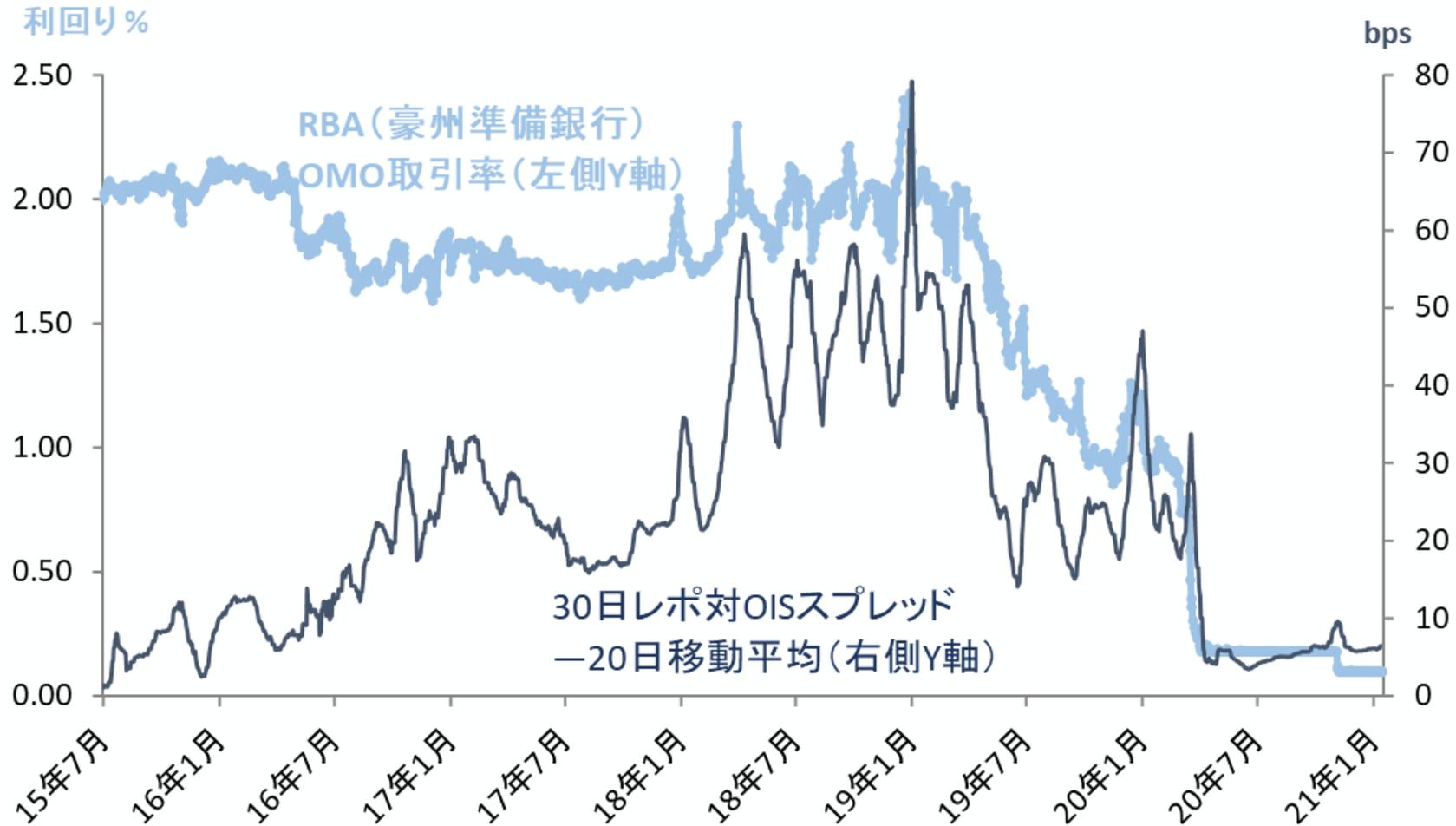
## 国内非ADI\*によるレポ市場アクティビティ



出典：RBA（豪州準備銀行）。最終データポイント（2020年10月31日）以外は四半期データを使用。

\* ADI：Authorised Deposit Taking Institutions [公認預金取扱機関]。国内銀行を指す。

# レポ市場の推移と短期資金調達



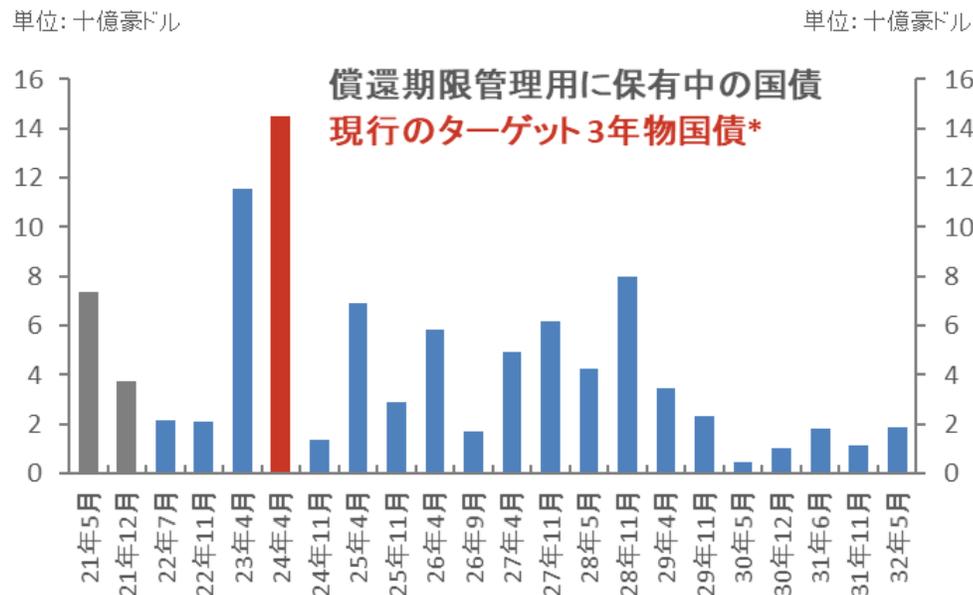
出典：RBA (豪州準備銀行)、Refinitiv

# RBAによるイールドカーブ操作と量的緩和オペ

2020年3月の当初期間におけるRBAによるセカンダリー市場での国債購入は、過密化したマーケットを整理するために重要な役割を果たし、円滑かつ迅速な市場の回復を後押しした。RBAはさらに、2020年11月3日に一連の追加策を発表：

- 11月からの6ヵ月間に償還期限5年～10年程度のTBおよび州・準州政府債1,000億豪ドル分（TB 8割：州・準州債 2割の比率を予定）をセカンダリー市場で購入
- 政策金利を0.1%まで引き下げ
- 為替決済残高に対する利率をゼロに引き下げ
- 3年物国債の利回り目標を0.1%程度に引き下げ
- ターム・ファンディング・ファシリティー（金融機関向け資金供給策）による新規の資金供給に対する金利を0.1%に引き下げ

## RBAのTB保有状況



## 3年物TBのイールド

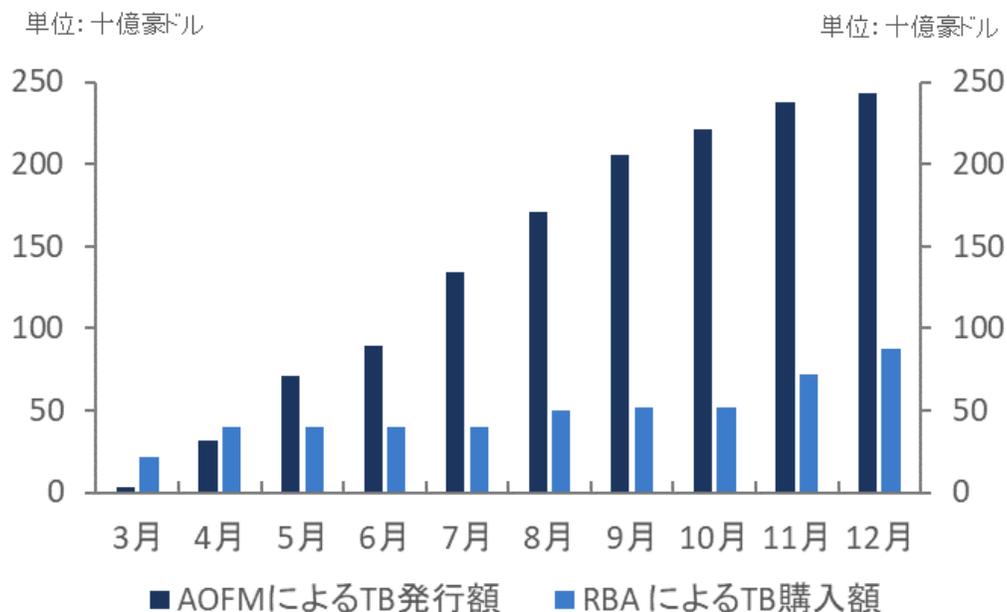


出典：AOFM、RBA（豪州準備銀行）。2020年12月31日時点のデータ。\*RBAがターゲットとする3年物国債は、残存期間が3年に最も近い国債である。

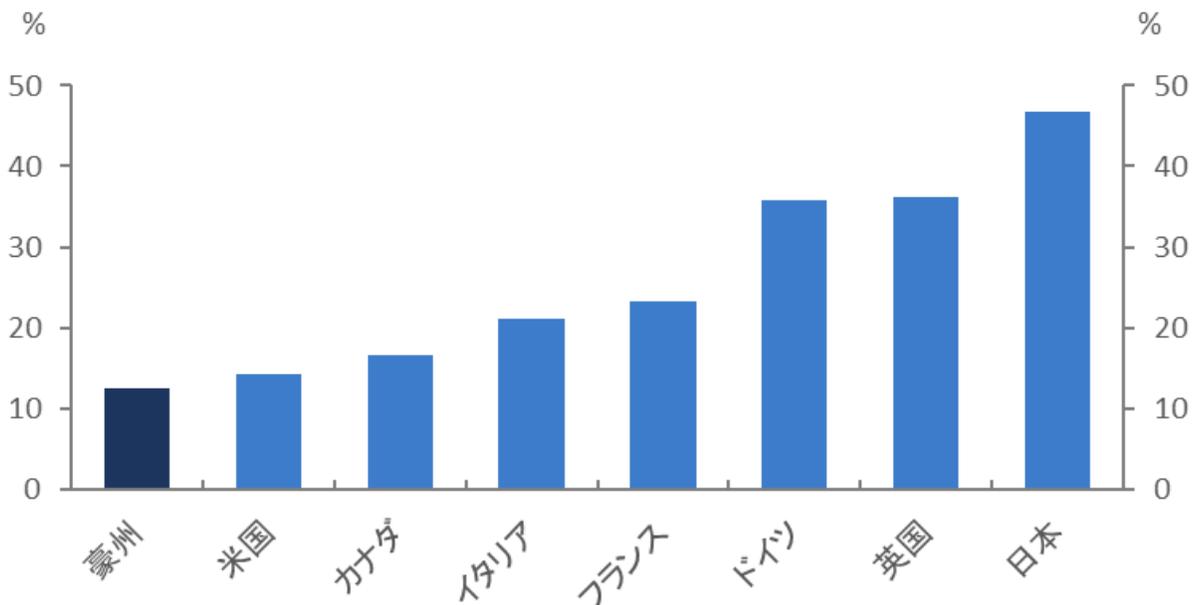
# RBAによるイールドカーブ操作と量的緩和オペ

2020年3月から12月の期間、RBAはセカンダリー市場で新規発行TBの36%程度を購入。今後6ヵ月間にわたるRBAによる約800億ドルのTB（AGS：豪州政府公債）のセカンダリー市場での購入は、AGSマーケットにおけるRBAの占有率をさらに引き上げることとなる。下記のグラフは、このオペの結果予測を主要国の状況との比較と合わせて示している。

2020年3月以降のTB累積発行額とRBAによるTB購入額



各国の自国内国債マーケットにおける中央銀行の占有率



出典：OECD Sovereign Borrowing Outlook 2020、AOFM、RBA。2020年12月31日時点のデータ。

# オーストラリア国債

TB (トレジャリー・ボンド)		発行残高(AUD)	利回り(%)	修正デュレーション
5.75%	2021年5月15日	25,824,324,000	0.01	0.32
2.00%	2021年12月21日	16,398,000,000	0.03	0.91
5.75%	2022年7月15日	24,762,708,000	0.05	1.44
2.25%	2022年11月21日	26,500,000,000	0.07	1.80
5.50%	2023年4月21日	34,199,708,000	0.10	2.13
2.75%	2024年4月21日	32,900,000,000	0.11	3.12
0.25%	2024年11月21日	29,000,000,000	0.18	3.81
3.25%	2025年4月21日	32,400,000,000	0.25	3.98
0.25%	2025年11月21日	26,500,000,000	0.34	4.79
4.25%	2026年4月21日	33,400,000,000	0.39	4.75
0.50%	2026年9月21日	28,000,000,000	0.47	5.56
4.75%	2027年4月21日	30,699,566,000	0.54	5.50
2.75%	2027年11月21日	28,000,000,000	0.64	6.26
2.25%	2028年5月21日	29,700,000,000	0.71	6.76
2.75%	2028年11月21日	31,100,000,000	0.78	7.08
3.25%	2029年4月21日	31,999,803,000	0.83	7.29
2.75%	2029年11月21日	32,900,000,000	0.91	7.88
2.50%	2030年5月21日	35,400,000,000	0.96	8.34
1.00%	2030年12月21日	32,700,000,000	1.03	9.36
1.50%	2031年6月21日	26,500,000,000	1.07	9.59
1.00%	2031年11月21日	28,000,000,000	1.12	10.16
1.25%	2032年5月21日	20,700,000,000	1.16	10.46
4.50%	2033年4月21日	14,300,000,000	1.18	9.82
2.75%	2035年6月21日	8,550,000,000	1.41	12.03
3.75%	2037年4月21日	12,000,000,000	1.54	12.61
3.25%	2039年6月21日	9,600,000,000	1.70	14.26
2.75%	2041年5月21日	12,600,000,000	1.82	15.74
3.00%	2047年3月21日	13,300,000,000	1.97	18.60
1.75%	2051年6月21日	15,000,000,000	2.06	22.91
合計:		722,934,109,000	ポートフォリオ:	6.8
トレジャリー・インデックス・ボンド		発行残高(AUD)	利回り(%)	修正デュレーション
1.25%	2022年2月21日	6,840,106,000	-1.52	1.10
3.00%	2025年9月20日	7,742,722,000	-1.32	4.45
0.75%	2027年11月21日	5,650,000,000	-1.08	6.75
2.50%	2030年9月20日	5,592,720,000	-0.77	8.84
2.00%	2035年8月21日	4,250,000,000	-0.47	13.06
1.25%	2040年8月21日	3,650,000,000	-0.18	17.73
1.00%	2050年2月21日	3,850,000,000	0.02	25.79
合計:		37,575,548,000	ポートフォリオ:	9.5

出典：AOFM、Refinitiv。2021年1月15日時点のデータ。

オーストラリア国債は、非居住者に対する利子源泉課税を免除されている。

# トレジャリー・ボンドのマーケットメイカー

トレジャリー・ボンド（中長期債）のマーケットメイキング業務を提供する意志を表明している金融機関の一覧  
（アルファベット順に記載）

具体的なアクティビティの度合いは金融機関ごとに異なります。



# ご質問・詳細情報はこちらに

ウェブサイト: [www.aofm.gov.au](http://www.aofm.gov.au)

所在地: Australian Office of Financial Management  
Treasury Building, Level 3, Newlands Street  
Parkes ACT 2600 Australia

お問い合わせ: [InvestorRelations@aofm.gov.au](mailto:InvestorRelations@aofm.gov.au)

利回り検索には下記をご利用ください:

[www.rba.gov.au](http://www.rba.gov.au)

ブルームバーグ:

“AOFM Go” (ホームページ)

“ACGB Govt Go” (TBおよびTIB)

“ACTB Govt Go” (TN)

トムソンロイター:

“AOFMINDEX” (ホームページ)

“O#AUTSY=YBAU” (TB)

“O#AUILB=YBAU” or “O#AUTSYIL=” (TIB)

“O#AUTNOTES=YBAU” (TN)

# 免責事項

本刊行物に記載されている情報は、一般的なご案内のためのものです。記載情報は、法的アドバイスまたはその他の専門家によるアドバイスを成すものではなく、いかなる法域における法令としても依拠されるべきものでもありません。本刊行物は一般的なご案内のみをその意図としているため、概括や一般論としての内容が含まれています。

AOFM（オーストラリア債務管理庁）は最新かつ正確な情報を提供すべくあらゆる合理的な努力をしますが、AOFMおよびオーストラリア連邦のいずれも、その情報の最新性や正確性、または完全性について、一切の責任を負いません。評価見積りや分析、予測、見通し、または将来ないし今後に関する記載はすべて、リスクや不確実性および仮定からの影響を受ける可能性があり、これにより実際の結果やパフォーマンスがそうした記載が暗示する将来予測される結果やパフォーマンスと大幅に異なる場合があります。AOFMは、そうした内容や情報の使用ないしそれらへの依拠に際しては本文書の読者が自らの技能を用い、注意を払うこと、あるいは適切な場合においては専門家によるアドバイスを受けることを推奨します。

AOFMおよびオーストラリア連邦は、明示的か暗示的かに関わらず、一切の保証や約束、表示担保責任も負わないものとし、本刊行物に記載されている情報の使用やそうした情報への依拠から、あるいはそうした使用や依拠に関連して発生するいかなる損失・損害（偶発的または派生的な損失・損害を含む）についても責任を負わないこととします。

## 著作権について

### 本刊行物の知的財産所有権について

本刊行物の著作権（および存在する場合はその他の知的財産権）は、別途注記がない限り、Australian Office of Financial Management（AOFM：オーストラリア債務管理庁）が所有しています。

### クリエイティブ・コモンズ・ライセンスについて

連邦国章（下記を参照）やAOFMのロゴ、「Market Makers [マーケットメイカー]」の項に記された一連のロゴ、および著作権を所有する第三者を情報源とする情報を除き、本刊行物に記載されている内容はすべて、Creative Commons Attribution BY 4.0 International [クリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際] ライセンスにより使用許諾されています。なお、第三者データを当該の第三者からの同意なしに複製することは禁じられています。



Creative Commons Attribution BY 4.0 International ライセンスは、著作の出典の表示を条件として、刊行物の複製や頒布、伝播・発信、翻案を認める標準形式のライセンス同意です。ライセンス使用条件の概要は <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/> にて、またライセンス使用条件の全文は <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode> にてご確認ください。

AOFMは、本刊行物（およびそれを情報源とする内容）の出典の表示を以下の文言で行うことを希望します。

出典：Australian Office of Financial Management [オーストラリア債務管理庁] により [クリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際](#) ライセンスに基づいて使用許諾された情報。

Australian Office of Financial Management は、必ずしもこの刊行物の内容を支持するものではありません。

### 連邦国章の使用について

連邦国章 [Commonwealth Coat of Arms] の使用が認められる条件は、「It's an Honour」のウェブサイト上で定められています（[www.itsanhonour.gov.au](http://www.itsanhonour.gov.au) をご確認ください）。

### お問い合わせ

使用許諾や本文書の使用についてのお問い合わせは、[enquiries@aofm.gov.au](mailto:enquiries@aofm.gov.au) までご連絡ください。